

平成29年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

教科	指導のめあて	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○大事な言葉に着目して読むことができるように学習活動を工夫する。 ○分からない言葉は進んで国語辞典を使って調べたり, 文章の中で既習の漢字を使ったりできるよう指導する。 ○目的意識や相手意識をもって話したり聞いたりするようにさせ、互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合いを進められるよう指導する。 ○書こうとすることの中心を明確にし、理由や事例を挙げて、読み手を意識した文章を書く力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「問われていることはなにか」を確認してから再度読むことを指導する。 ○国語辞典を活用することを習慣化させる。 ○全体に話す時、少人数グループの中で話す時、隣の人と話す時など、様々な場を設定し話す機会を多く作り、適切な声の大きさ、速度などを考えられるようにする。 ○目的に応じて理由や事例を挙げて話せるようにする。また、話し合いの際は、アジェンダを意識させ自分の意見と相手の意見を比べながら聞くようにさせる。 ○書こうとすることの中心は何なのかを明確にしたり、必要な事例や理由を挙げたりして書き出し、一度構成を考えてから書くことを指導する。 ○どんな目的で誰に対して書く文章なのかを意識して書くよう指導する。

社会	<p>○身近な社会的事象から課題を設定したり、進んで課題に取り組んだりする力を育てる。また、課題に合った資料を探し、その中の必要とする内容を選択することができる活動を増やす。</p> <p>○何のために資料を読み取るのかを意識させ、資料から考えたことや、今後の予想を考える活動を増やす。</p>	<p>○体験活動を重視し、興味・関心をもったことから、どのように課題設定をするのかを全員で考える機会をとる。また、資料収集の仕方を例示し、課題を検討する時間を十分にとるようにする。</p> <p>○グラフや表の突出しているところや、全体の傾向を読み取る時間を十分とるようにする。</p>
理科	<p>○見通しをもって学習を進めたり、自分の考えをわかりやすく記述したりする力を身に付ける。</p> <p>○自然事象や実験・観察結果から、共通点や差異点を見出したり、様々な自然事象と関連付けて考えたりする力を育てる。</p>	<p>○問題を解決していく学習過程をノート指導やワークシート、板書などを通して丁寧に指導する。</p> <p>○児童の考えを大切にし、その考えを調べるためには実験・観察の際にどこを見るべきなのか、視点を明示する。</p> <p>○観察・実験結果の共通点や差異点を見出しやすくする記録方法を提示する。</p> <p>○実験・観察結果まで予想させ、得られた結果を十分に検討、考察する時間をとる。</p> <p>○実体験や既習事項と関連していることはないかを考えるよう指導する。</p>
体育	<p>○児童の課題に応じた運動を取り入れ、発達段階にふさわしい運動技能を身に付ける。</p>	<p>○苦手意識をもたないように、段階を追った活動（スモールステップの場）を設定する。</p> <p>○児童が自分の課題に沿って運動を選べるような場を設定する。</p>
総合	<p>○身近な事象からテーマを設定したり、設定したテーマに沿ったまとめをしたりする力を育てる。</p>	<p>○自らテーマを見出すことが難しい児童には、教師が事例を提示してその中からテーマを選んで設定することができるように</p>

<p>○問題解決型の学習活動を他教科との関連もふくめて多く取り入れる</p>	<p>する。</p> <p>○調べたことや自分の考えがテーマに沿った内容であるか、また一番伝えたいことは何なのかをよく考えてからまとめをするよう指導する。</p> <p>○図書やインターネット、新聞記事など多様な情報にふれる機会を多くもつ。</p>
--	--